

テーマ	認定看護師教育セミナー 外回り看護
日時	令和6年11月16日(土) 10:00~12:30/13:35~16:00 (途中休憩5分)
場所	Web配信 講師、セミナー担当者は事務局から参加
出席者	公立学校共済組合関東中央病院 手術看護特定認定看護師 安西さくら 東京大学医学部附属病院 手術看護特定認定看護師 前田美香
内容	<p>午前：講義 1.「<u>概論/術前の看護</u>」</p> <p>講義 2.「<u>術中看護/麻酔看護/手術体位</u>」</p> <p>外回り看護師とは、チームをコーディネートする重要な役割であることを看護職の倫理綱領を含めて説明、安全な手術に必要な目標を共有した。手術を受ける患者に必要な看護を周術期看護の場面から、手術体位までの項目で講義を行った。術前の患者情報収集では、患者に寄り添い術前面談で不安を傾聴し、多職種との共有、連携することの必要性を説明した。心機能、呼吸機能などフィジカル面でのリスクアセスメントを行い、禁煙指導、麻酔の種類、麻酔導入時の患者状態の理解を含め、挿管介助に必要な知識、手技などを講義した。手術体位による二次的合併症を予防しながら適切な手術体位をとるための基本的知識、ポイントを、各種体位別でイラストや写真を提示しながら説明、関連して褥瘡についての知識も含め講義した。講義中に資料に対する質問があり、講義後に回答し理解が得られた。</p> <p>午後：講義 3.「<u>術中モニタリング/体温管理/PE・DVT/安全・感染管理</u>」</p> <p>講義 4.「<u>術後看護</u>」 事例検討</p> <p>術中モニタリングでは、体温管理、DVT、体内遺残防止に関わる例をガイドラインや表で示し、安全管理ではアレルギー、アナフィラキシーショック、SSI、大量出血時の対応について説明、レントゲン撮影で写された体内遺残している鋼線入りガーゼ、鋼製小物遺残の写真を講義資料として提示した。事例検討では、肥満患者の緊急手術の対応について、患者情報、検査データを提示して、受講者にはその場で数分、対応を検討してもらい、術前から術後まで場面を設定し午前中の講義をもとに講師が解説を行った。事例検討に対する質問はなかったが、他施設でどのような対応をしているか質問が挙がった。意見交換などにはならず、講師からの回答で対応し理解が得られた。</p>

